

出向く宮農レポート

～事前に対策しよう～



北部宮農センター
廣瀬 凱

今回は長久手産直友の会の会員で長年出荷していただいている、川本文雄さんの圃場へ夏野菜の生育状況確認に伺いました。川本さんは農業歴20年以上のベテランです。6月中旬の訪問時はトマト、ナス、キュウリ、ジャガイモなど多品目を栽培中でした。今までの経験を活かし、どの野菜もしっかりと仕立ててあり、順調な生育です。

ナスの生育も順調ですが、暑さが増すにつれ、様々な病害虫が成長を阻みます。中でも注意したいのはチャノホコリダニです。チャノホコリダニはとても小さく、肉眼による確認はとても困難です。茎頂部の生長点に被害をもたらし、葉が奇形となったり、時に心止まり※を起こしたりします。また果実はかすり状に変色してしまい、出荷に大きな影響を及ぼします。

特に25℃から30℃の高温多湿を好み、短期間で高密度発生となります。昨年は8月の発生が多かったのですが、今年は早くから高温だったこともあり、6月には長久手市内圃場にて発生を確認しました。訪問時、川本さんのナスに発生はありませんでしたが、昨年は大きな被害にあっており、早めの対策としてダニに効果があるコロマイト乳剤を散布していただくよう指導しました。川本さんは「今年のナスはきちんと防除して、納得のいくものを出荷したい」とお話ししていました。

皆様も小さな変化を見落とすことなく事前に防除を行い対策しましょう。



※心止まり…茎となるべき新しい成長点が伸長せず、茎の伸長が止まってしまうこと。

ナスのチャノホコリダニ対策



コロマイト乳剤

速効性に優れ、卵から成虫にまで効果があります。

- 希釈倍数：1,500倍
- 使用量：100～300L/10a
- 使用時期：収穫前日まで



使用に際しては、製品ラベルの記載内容に従ってご使用ください。